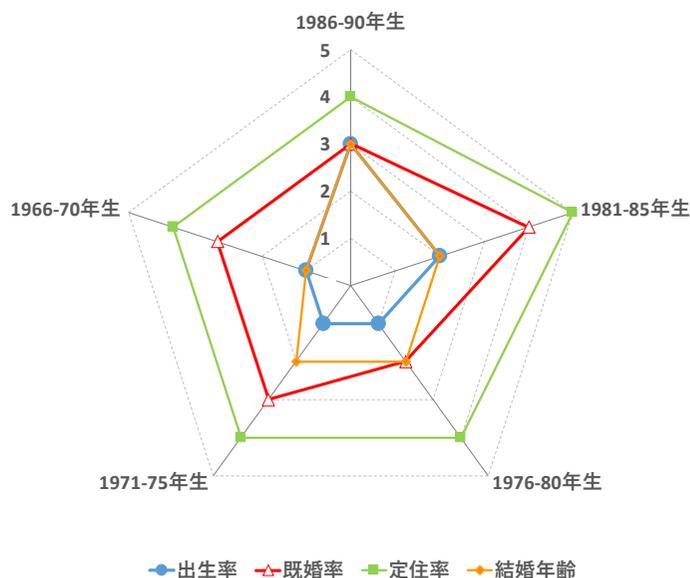


(9) 見附市

①出生に関する総合評価

図9-1 コホート別総合評価



注：各コホート別の新潟県30市町村内の順位を5段階で評価している。

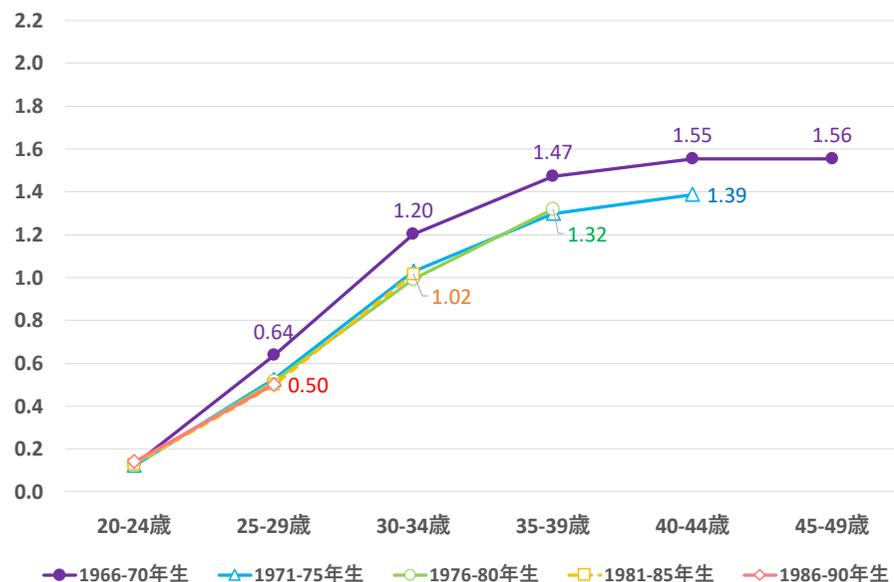
1. 合計出生率は、1966-70年生まれから1976-80年生まれまでは最下位、1981-85年生まれは下位、1986-90年生まれは中位である。
2. 女性既婚率は、1976-80年生まれは下位、1966-70年生まれ・1971-75年生まれ、1986-90年生まれは中位、1981-85年生まれは上位である。
3. 女性定住率は、1966-70年生まれ、1971-75年生まれ、1976-80年生まれ、1986-90年生まれは上位であるが、1981-85年生まれは最上位である。
4. 女性結婚年齢は、1966-70年生まれは最下位、1971-75年生まれ、1976-80年生まれ、1981-85年生まれは下位、1986-90年生まれは中位である。

【総合評価】

1. 見附市の合計出生率は、1970年代生まれまでは最下位に属していたが、80年代は下位から中位まで上昇している。ただし、この1980年代生まれの順位の上昇は、見附市では1980年代生まれの合計出生率が、1970年代生まれと同程度で維持された一方で、他の自治体では低下したためであり、相対的なものである。
2. 子どもが産まれる確率が最も高い25-34歳の出生数は、1970年代前半生まれから1人を下回っており、1980年代前半生まれは0.9を下回っている。25-29歳の出生率は一貫して減少傾向にあることから、今後1人以上を回復できるかは30歳代でのキャッチアップがどの程度であるかに依存する。

②コホート合計出生率

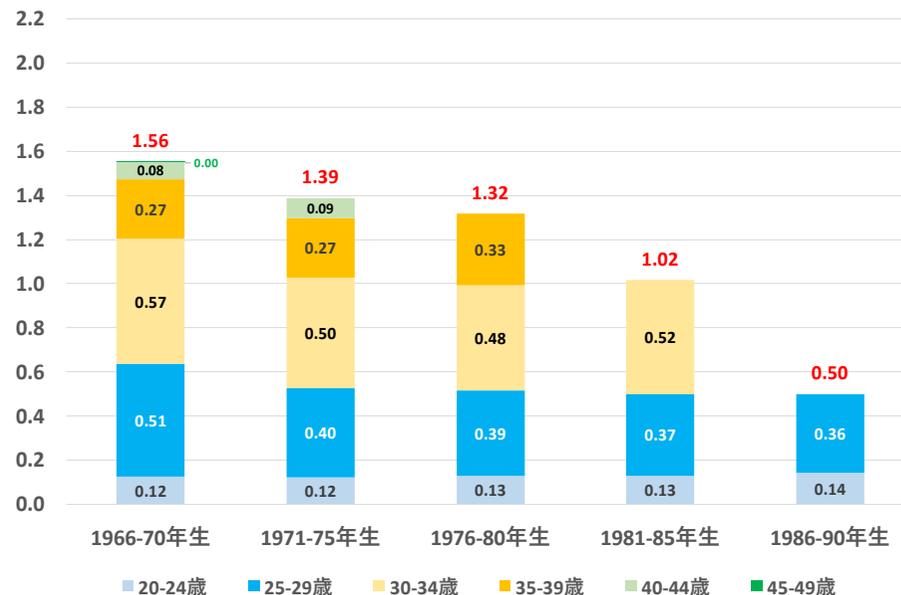
図 9-2 コホート合計出生率の推移



注：新潟県「福祉保健年報」より作成。

- ・ 図 9-2 は、見附市のコホート合計出生率の推移を示している。
- ・ 県内他市町村と同様に、25-29 歳以降で、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれ以降の間に出生率の大幅な低下がみられる。
- ・ 1971-75 年生まれ以降のコホート間の差はごくわずかでしかない。

図 9-3 コホート合計出生率の年齢区分別内訳

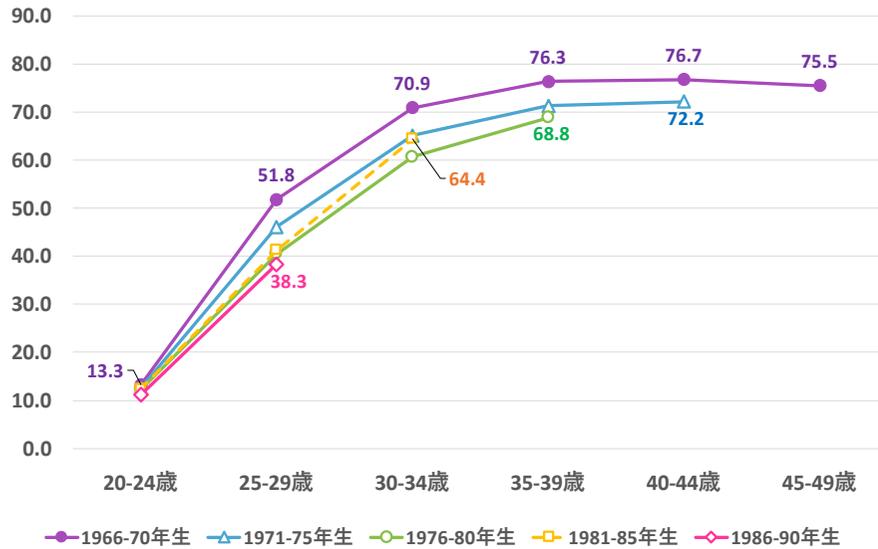


注：新潟県「福祉保健年報」より作成。四捨五入のため内訳の計と合計が一致しない場合がある。

- ・ 図 9-3 は、コホート合計出生率の年齢区分別内訳を示している。
- ・ 20 歳代の出生数は、1966-70 年生まれコホートの 0.63 人に対して、1986-90 年生まれは 0.50 人に減少している。30 歳代では 1966-70 年生まれの 0.84 人に対して、1976-80 年生まれは 0.81 人にわずかに減少している。
- ・ 晩婚化のため 20 歳代の出生率が低下しているが、1966-70 年生まれから 30 歳代でも 1 人が生まれておらず、低下傾向が続いている。
- ・ 子どもが産まれる確率が最も高い 25-34 歳の出生数は、1971-75 年生まれから 1 人を下回っており、1981-85 年生まれは 0.89 人に減少した。

③コホート別既婚率

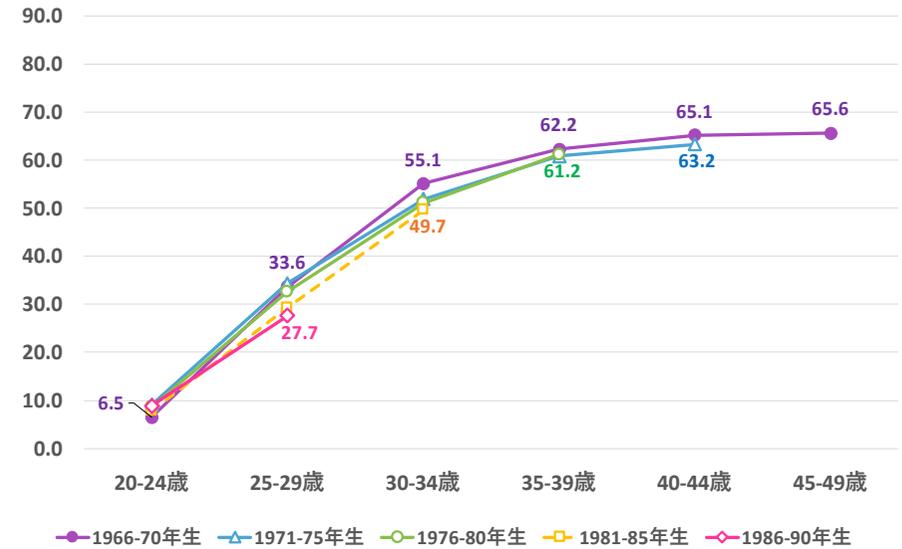
図 9-4 コホート別既婚率の推移(女性) 単位：%



注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 9-4 は、コホート別の到達年齢までの女性既婚率の推移を示している。
- ・ 25-29 歳以降で、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれ以降の間に既婚率の大幅な低下がみられる。さらに、1971-75 年生まれとそれ以降のコホート間でも、25-29 歳と 30-34 歳時点の低下がみられる。
- ・ 25-29 歳の既婚率は、1966-70 年生まれの 51.8%から 1986-90 年生まれの 38.3%へと 13.5 ポイント低下し、35-39 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 76.3%から 1976-80 年生まれは 68.8%へと 7.5 ポイント低下している。

図 9-5 コホート別既婚率の推移(男性) 単位：%

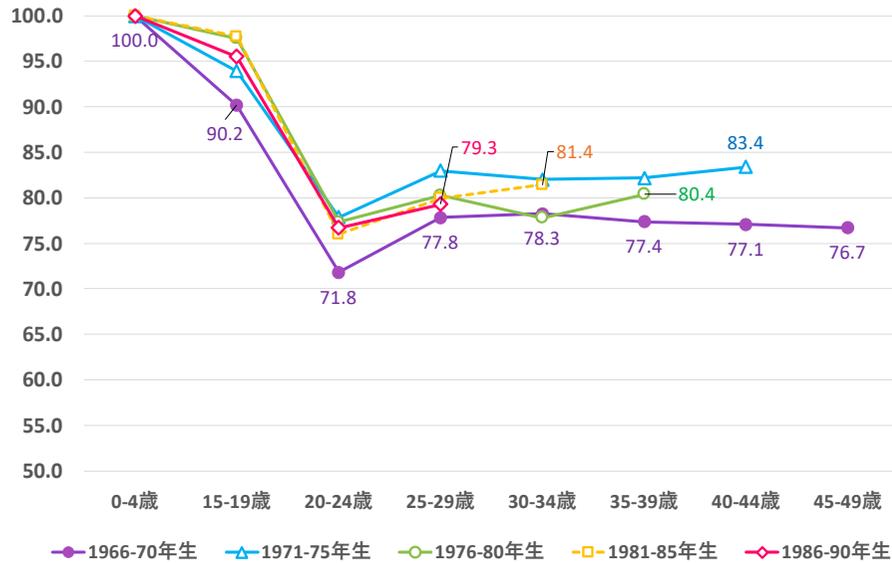


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 9-5 は、コホート別の到達年齢までの男性既婚率の推移を示している。
- ・ 男性既婚率も女性同様に最近のコホートほど低下する傾向が確認できるものの、女性既婚率と比較して、コホート間の差はごく小さい。
- ・ 25-29 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 33.6%から 1986-90 年生まれは 27.7%へと 5.9 ポイント低下し、35-39 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 62.2%から 1976-80 年生まれは 61.2%に 1.0 ポイント低下している。
- ・ 女性既婚率は 40 歳代で 70%台半ばに達するが、男性は 60%台半ばに止まり、男性既婚率のほうが低い傾向がある。

④コホート別定住(残存)率

図 9-6 コホート別女性定住率 単位：人口指数

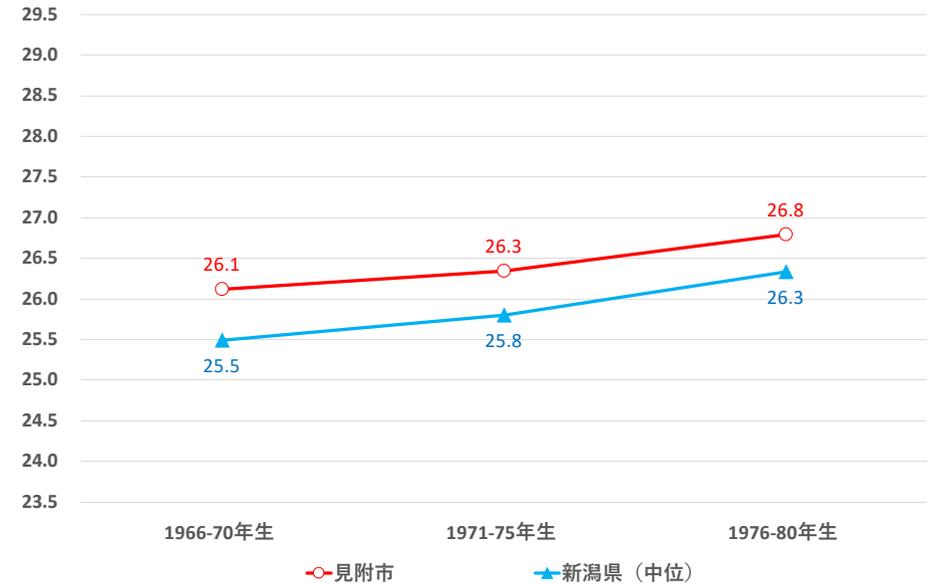


注：0-4歳人口=100。「国勢調査」より作成。

- ・ 図 9-6 はコホート別の到達年齢までの定住率の推移を示している。
- ・ 25-29歳における女性定住率は、1966-70年生まれの77.8から1986-90年生まれは79.3に1.5ポイント上昇しており、35-39歳における女性定住率は、1966-70年生まれの77.4から1976-80年生まれは80.4に3.0ポイント減少している。
- ・ 見附市では、25-39歳時でみると、定住率の低下は見られず、1970年代生まれ以降のコホートは1966-70年生まれコホートより上昇しており、0-4歳時点の70%台後半から80年%台前半の水準が維持されている。

⑤コホート別女性平均結婚年齢

図 9-7 女性平均結婚年齢 単位：歳

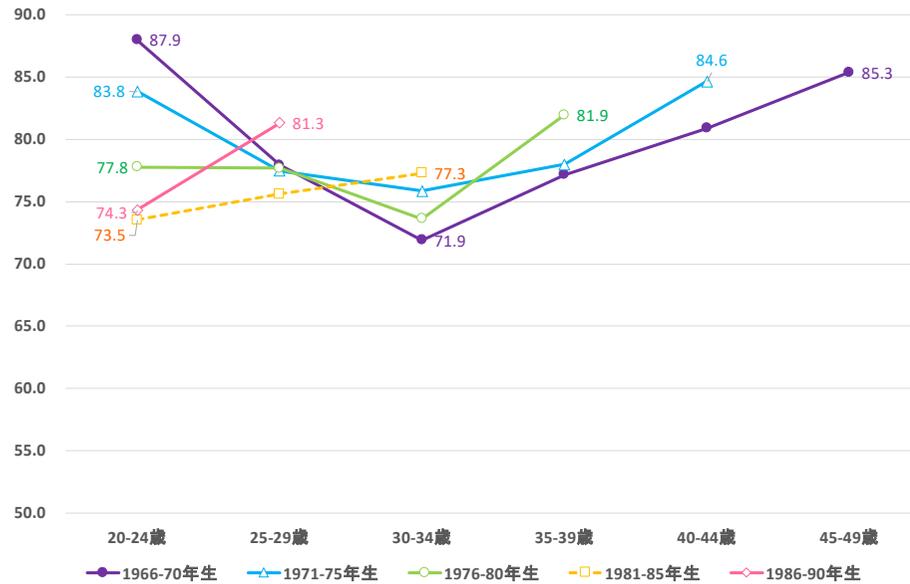


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 9-7 はコホート別の35-39歳までの女性平均結婚年齢を示している。
- ・ 1966-70年生まれ、1971-75年生まれ、1976-80年生まれの35-39歳までの女性平均結婚年齢は、それぞれ26.1歳、26.3歳、26.8歳である。1966-70年生まれと比べて、1976-80年生まれは0.7歳だけ平均結婚年齢が遅れている。
- ・ 1966-70年生まれの県内順位は28位、1971-75年生の県内順位は27位、1976-80年生は25位と平均結婚年齢が県内で最も遅い自治体の一つである。

⑥コホート別女性就業率

図 9-8 コホート別女性就業率 単位：%

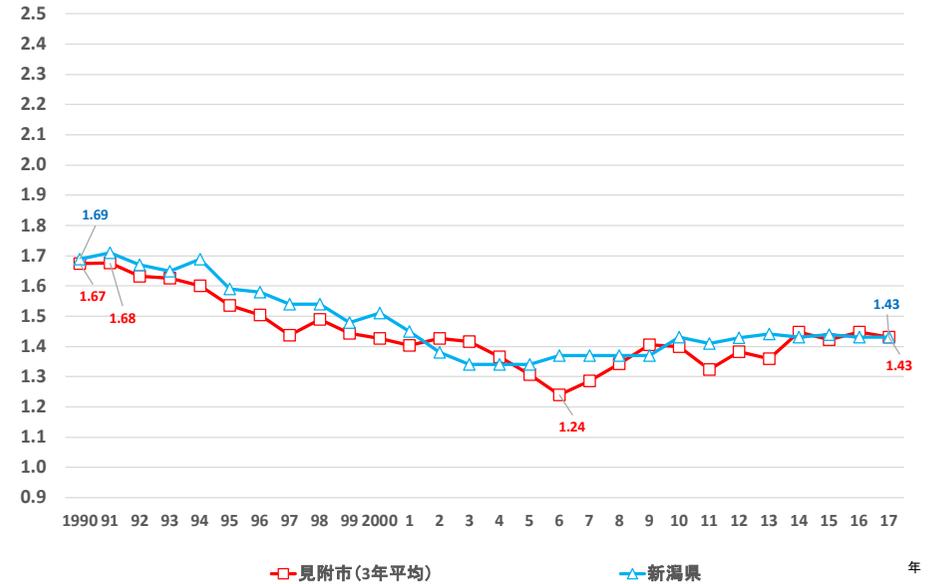


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 9-8 はコホート別の女性就業率の推移を示している。
- ・ 20-24 歳から 25-29 歳までの女性就業率の変化を見ると、1981-85 年生まれと 1986-90 年生まれのコホートは上昇しているのに対し、それ以外のコホートでは低下している。
- ・ 30-34 歳の女性就業率を見ると 1966-70 年生まれは 71.9%であったのに対して、1981-85 年生まれは 77.3%に上昇している。
- ・ 1970 年代生まれまでは M 字カーブが確認されたが、1981-85 年生まれコホートでは 30-34 歳時点で M 字の底が確認されない。

⑦期間合計特殊出生率

図 9-9 期間合計特殊出生率の推移



注：市町村の出生率は 3 年間の移動平均値である。新潟県「福祉保健年報」より作成。

- ・ 図 9-9 は、1990 年から 2017 年までの新潟県平均と見附市（3 年平均）の期間合計特殊出生率の推移を示している。
- ・ 1990 年以降でみると、見附市の期間合計特殊出生率は新潟県平均とほぼ同程度で推移しており、期間平均は 0.03 ポイント低い。
- ・ 十日町市の期間合計特殊出生率は、1991 年の 1.68 をピークに低下してきたが、2006 年の 1.24 を底に改善し、2017 年には 1.43 に上昇している。